

## キャリア教育推進コーディネーターとの連携

南箕輪中学校 大木島靖

### 1. はじめに

南箕輪中学校では、村のキャリア教育推進コーディネーターと協力してキャリア教育に取り組んでいます。コーディネーターは、南箕輪中学校のキャリア教育に積極的にかかわり、地域と学校をつなぐ役割を果たしています。

村に中学校が1校ということもあり、要望があれば毎日来校して、打ち合わせ・資料提供等を行っています。キャリア教育を行う際に職員の大きな負担となっていた、職場体験学習等の対外的な交渉を行うだけにとどまらず、職員が希望することへの対応や新たな企画を職員とともに作り上げるといった活動も行っています。

### 2. コーディネーターとの連携

#### (1) 活動事例

総合的な学習の時間でキャリア教育に関わった活動を行いたいという希望をもった学年がコーディネーターに相談します。相談を受けたコーディネーターは学年の係と協力して以下のような『「地域の誰かのために」自分ができること』というテーマでの活動を提案します。

提 案 『「地域の誰かのために」自分ができること』

#### ○目的

大人になってからではなく、今の自分が生活している南箕輪村という地域の誰かのためにできることを、実際に地域の方々と関わる中で考え、行動することを通し、コミュニケーション能力や自己肯定感を高める。

誰かのためにという思いは、将来仕事をしたり、地域の中で周りの人と支え合って生きていくときの原動力となる。誰かのために動き、その誰かが喜び、自分も喜びを感じるという経験ができることを願う。

中学校におけるキャリア教育で重要な点(長野県キャリア教育ガイドラインより)

- ①興味・関心・意欲等に基づく勤労観・職業観の形成
- ②コミュニケーション能力の育成
- ③肯定的自己理解と自己有用感の獲得

⇒ テーマは自分で決められる方が「自分から」という気持ちが出るのでは…。

例えば…

「今の自分が、村の誰かのためにできることを探して、やってみよう！」

- ・お世話になる事業所を10カ所程度(職員がつける数)挙げて選ばせる。
- ・生徒を各事業所に振り分ける
- ・事業所を訪問し、働く方や利用者などから話を聞いたり、施設を見たり、写真を撮ったりして「こうだったらいいな」「ここが困っているのでは」を探す。…①②
- ・グループごと話し合い、課題を挙げ、どの課題について取り組むか決める。…①
- ・グループごと課題の解決方法を考える。…②
- ・事業所との打ち合わせ、ヒアリング。…②
- ・自分たちの考えを形にすることで誰かが喜ぶことを通して自己有用感を感じる。…③

※うまくいくことが成功ではなく、考えてやってみることが成功というスタンスで行う。

提案を受けて学年会でよりよい活動になるよう検討を重ねていき、必要に応じてコーディネーターも加わり活動を作り上げていきます。

### 3. まとめ

(1) キャリア教育推進コーディネーターと連携して活動に取り組むことについて…職員の声

- ・「南箕輪の光（よさ）を発信しよう」の活動にあたり、村の観光課とのアポとりや講師の派遣等で大変お世話になった。おかげで活動がスムーズに進められた。
- ・「南箕輪で生きる人々に学ぶ会」「人生の先輩と語る会」では、人脈を生かして多様な講師を選定していただいた。
- ・「キャリア教育」＝「職場体験学習」というとらえではなく、「今とこれからの自己の生き方を見つめる」ことを大切に考えていただけていることがありがたい。
- ・生徒の見方、考え方が広がってきている。
- ・職場体験学習では、職場との交渉をほぼすべてやっていただいた。また、新たな受け入れ先を開拓していただけたのがありがたかった。
- ・キャリア教育の全体計画（3年間を見通した）を作成していただけたので見通しをもった活動ができた。
- ・活動ごとにガイダンスを行っていただけたので、学年全体が同じスタンスで取り組むことができる。
- ・こまめに学校に来ていただいて連絡を取り合ったり、情報交換をし合ったりできることは大変助かる。



コーディネーターによる職場体験事前学習の一場面

(2) 今後考えていきたいこと

南箕輪中学校では、村にキャリア教育推進コーディネーターがいるおかげで、職員の負担が大幅に軽減されています。今後は、さらにコーディネーターと連携をとり、地域とつながった活動を行っていきたいと考えています。

また、コーディネーターの協力のおかげで、3年間の見通しをもったキャリア教育が行われるようになってきています。今後は、キャリア教育の記録を次の学年(担任)に引き継いでいくための「キャリアノート」作りにも取り組んでいけたらと思います。コーディネーターの協力を得ながら、小学校から中学校まで続くものにしていくことも考えていきたいと思っています。

(2) コーディネーターと職員の連携表

事前事後学習の目的とコーディネーター・教員・生徒・講師の活動														
H29年度入学生「ぼくのわたしの生き方がし」スケジュール														
		目的	コーディネーター		教員		生徒		講師	事業所	備考・根拠資料	現在不明確な点		
			事前	当日	事前	当日	受動的な面	ワーク・活動						
H29年	11月	キャリア教育ガイダンス キャリア教育とは何かを知り、将来の生き方を考えるきっかけとする	計画、教員との打ち合わせ、資料・スライド作成	スライドを用いて講義	計画、コーディネーターとの打ち合わせ、教室確保、時間調整			話を聞く			「キャリア教育ガイダンス報告」 H29/11/20	生徒の活動はあるのか？ ⇒なし。H30年度の1年生は・クイズを盛り込む・ワークシートを使うという改善をしました。		
	12月	大人と語る会 スタッフとしての心構えをもち、どんな会になると学年生徒の視野が広がるか自ら考える	キャリア教育ガイダンスでの告知	会議運営	有志メンバー募集、とりまとめ	会議参加					「大人と語る会」実施要項 H29/12/20	教員は会議に参加するのか？ ⇒1名参加。進行や助言等はしていません。		
H30年	1月	大人と語る会 地域の大人から話を聞き、将来の働き方・生き方に対する視野を広げる。生徒がどう生きていきたいかを考えるきっかけにする	講師依頼、生徒向け資料作成 計画、講師向け資料作成、報告書作成	当日の進行	会場確保、生徒との資料事前読み合わせ 計画、講師依頼文作成	当日の進行		講師のブースを回り、話を聞く	講師への質問・メッセージ、感想の記入		15名 自己紹介、自分のブースで生徒の質問に答えながら仕事や暮らしについて話す	「大人と語る会」実施要項 H29/12/21」・生徒用資料		
	2月	職場体験事前説明 (1)体験先の業種について理解を深める。 (2)職場体験学習に向けて見通しを持ち、学習する気持ちを高める	スライド作成	体験先の業種についてスライドで説明	計画、会場確保	はじめの言葉、目的説明、今後の日程の連絡		説明を受ける、その後アンケート記入				「1学年会資料職場体験学習 事前説明会 計画」、コーディネータースライド		
	2月	事業所別打合会 職場体験前に何を事業所の方と確認するかを考え、職場体験への意識を高める		業種別に学年の教員と教室を割り振り	人数確認、今後の予定説明、責任者の記録	各事業所人数の確認、指導		責任者決め、職場調べ、ワークシート記入				「2月6日⑥学活の進行」		
	3月	事業所調べ 自分がお世話になる事業所について調べ、職場体験への意識を高めるとともに仕事に対する視野を広げる			教室確保、生徒用ワークシート作成	調べ学習の指導		調べ学習、ワークシート記入				「体験先について調べよう」生徒用ワークシート		
	3月	マナー講座 あいさつや言葉遣いがなぜ大切なのか・信頼関係についてのお話を聞き、職場体験への意識を高めるとともに日々の生活について見つめ直す	講師依頼 事前打ち合わせ	進行	会場確保 事前打ち合わせ	進行		講義を聞く	ワークシート記入、あいさつやマナーの練習	〇〇さん(人材コンサルタント) ワークシート作成、講演		キャリア教育推進コーディネーター日記 「H30年3月7日(水) 南箕輪中学校 キャリア教育職場体験マナー講座」 (生徒向けワークシート)	マナー講座の明確な目的	
	3月	生徒事前電話連絡 職場体験の概要を確認することを通し、お世話になる方への電話でのあいさつを学ぶ	生徒から電話が来ることを事業所に伝える？ ⇒書面・電話で伝える		連絡の取り方についての指導、マニュアル作成 書面作成	電話許可		学校の電話から行う、電話の前に許可を取る			電話での対応、		「職場体験学習 事業所への電話連絡について」	事業所に事前に生徒から電話があることは知らせてあるのか、コーディネーターが行っているのか？ ⇒左記参照
	3月	生徒事前打合 実際に顔を合わせて概要を確認することを通して、初対面の人とコミュニケーションを取ることを学ぶ						校外学習計画書記入					校外学習計画書	
	4月	こんな事業所はイヤだ 「こんな事業所はイヤだ」を考えることを通して、消費者側ではなく事業所側としてどんなことを意識していけばいいのかを考える	計画、講師依頼、当日使う資料作成	説明、お手本	計画、会場確保	はじめと終わりの言葉		説明を聞く	「こんな〇〇はイヤだ」について考える。付箋を使いグループでディスカッション	〇〇さん(キャリアコンサルタント)、講演		コーディネーター日記・「H30.4.23 職場体験事前学習 授業案」	目的	
		目的	コーディネーター		教員		生徒		講師	事業所	備考・根拠資料	現在不明確な点		
			事前	当日	事前	当日	受動的な面	ワーク・活動						

5月	事後学習説明	職場体験活動後の新聞づくりとその項目について確認することを通して、見直しをもって職場体験学習に臨む																		教員が生徒に行っているのか⇒教員が指導しています			
5月	当日の流れ説明	職場体験活動当日の動きについて確認することを通して、見直しをもって職場体験学習に臨む																		教員が生徒に行っているのか⇒教員が指導しています			
5月	自己紹介カード記入	事業所の方への自己紹介カード作成を通して、自分自身を見つめる	事業所へ自己紹介カードの使い方についての資料作成・送付			自己紹介カードのチェック、教育委員会へ提出 記入の指導	名前、性別、地区名のほか自分の性格、事業所を選んだ理由、具体的な行動・がんばりたいことを記入	記入												自己紹介カードの受け取り (FAX⇒郵送です)	生徒自己紹介カード(コピー)		
5月	受け入れ事業所よりお話し	社会人となったときのあいさつの大切さを学び、職場体験学習がそれを学ぶ機会になるということ意識する。日々の生活に活かす。	講師依頼 打ち合わせ			会場確保、生徒との資料事前読み合わせ 計画、講師依頼文作成、会場準備	当日の進行 話を聞く													質疑(各クラス2から3名をあらかじめ決めておく)	〇〇会社 〇〇さん 企業紹介、仕事内容、仕事に就いた理由、受け入れ事業所が期待すること、コミュニケーション・あいさつの大切さなど	〈先生の思い〉生徒たちは、自分の気持ちを言葉や行動に示すことが苦手。普段一緒に生活している教員は、生徒のことを理解しやすいが、社会に出たら「自分から伝えようとする態度」が大切。職場体験を通して、自分の気持ちを相手に伝える力が伸びることを願っている。一般廃棄物、産業廃棄物処理業という仕事を学んでほしい。どの仕事(お世話になる事業所)も、自分の生活を支える役割を担っていることを意識できたら。	実施目的
	職場体験本番	依頼文参照	事業所訪問				事業所訪問																
6月	お礼の手紙作成	お世話になったときの感謝、自分がどんなことを学べたかの振り返りを事業所の方へ丁寧な言葉づかいで伝える	お礼の手紙送付			お礼の文章作成 指導・内容チェック														お礼の手紙作成			
6月	新聞作成	他の事業所で行った2年生や、来年職場体験へ行く1年生に向けて、自分が職場体験で学んだことを伝えよう	計画、ガイダンススライド作成	スライドを用いて講義	計画		当日の進行 話を聞く															「平成30年6月20日 職場体験学習 新聞づくり」	
6月	～		新聞送付?⇒送付しました			作成指導														新聞作成			
10月	大人と語る会	大人と語る会の目的、流れの確認	スライド作成、打ち合わせ	スライドを用いて講義	会場確保 当日進行																		
10月	大人と語る会	職場体験学習を終え、学びやこれからの学校生活に活かしたいことを新聞にまとめた生徒たち。今後、学校生活では生徒会活動や部活動で学校の中心となる立場となり、また将来の仕事や生き方を見据えながら進路について考えていく時期となる。職場体験学習でお世話になった事業所の方々ははじめ地域の方々の「人生」について話すことを通して、将来の「生き方」の視野を広げ、自分の「生き方」を考えるきっかけとする。	計画、資料作成、講師依頼、講師の自己紹介資料・人生グラフの記入 お願い	はじめの言葉、趣旨説明、進行	計画、講師依頼文作成、生徒割り振り、お礼状作成 冊子読み合わせの指導	はじめの言葉、趣旨説明、進行	生徒自身の自己紹介カードを記入、冊子読み合わせ、話を聞く講師決定(事前)	各ブース生徒責任者による司会進行、講師への質問、感想・メッセージ記入	自己紹介、人生グラフの記入 仕事や人生グラフについて話す。													「H30年9月28日 南中2年生『大人と語る会』実施要項」	

H30年度入学生											
目的	コーディネーター		教員		生徒		講師	事業所	備考	根拠資料	現在の不明確な点
	事前	当日	事前	当日	受動的な面	ワーク・活動					

H30年	6月	南箕輪村の光を発信しよう	目的の確認、あいさつや態度などの確認	打ち合わせ、スライドの作成	スライドを用いた講義	打ち合わせ会場準備												
	7月	南箕輪村の魅力を発信しよう	南箕輪村の魅力について調査し、ふるさとについて学び、愛着を深める。伝える力を伸ばす。	打ち合わせ、講師依頼			生徒向け資料作成、各グループへの指導、講師への事前連絡											
	10月	キャリア教育ガイダンス	キャリアとは何か、社会情勢、これからの日々で大切にしたいことを伝え、自分の生き方を考えるきっかけとする。	打ち合わせ、スライドの準備	スライドを用いた講義						ワークシート記入							
	10月	南箕輪村の人々から学ぶ講座	お仕事体験や見学をしたり、仕事を通じたやりがいや苦労等の話を聞くを通して、「仕事」についての視野を広げる。職場体験学習への足掛かりとする。	計画、講師依頼			生徒向け資料作成、各グループへの指導、講師への事前連絡											
H31年	12月	大人と語る会	スタッフとしての心構えをもち、どんな会になれば目標が達成できるか自ら考える	キャリア教育ガイダンスでの告知	会議運営		有志メンバー募集、とりまとめ	会議参加				有志メンバー13名が参加(実行委員)					「大人と語る会」実施要項 H29/12/20	教員は会議に参加するのかわ？ ⇒1名参加。進行や助言等はしていません。
	1月	大人と語る会	地域の大人から話を聞き、将来の働き方・生き方に対する視野を広げる。生徒がどう生きていきたいかを考えるきっかけにする	講師依頼、生徒向け資料作成 計画、講師向け資料作成、報告書作成	当日の進行		会場確保、生徒との資料事前読み合わせ 計画、講師依頼文作成	当日の進行	講師のブースを回り、話を聞く			講師への質問・メッセージ、感想の記入	15名 自己紹介、自分のブースで生徒の質問に答えながら仕事や暮らしについて話す				「大人と語る会」実施要項 H29/12/21・生徒用資料	

